

2019年度第1四半期
決算説明資料

2019年8月2日

旭化成株式会社

目次

1. 2019年度第1四半期実績

P8	主要決算数値
P9	連結損益計算書
P10	連結貸借対照表
P11	連結キャッシュ・フロー計算書
P12	セグメント別売上高・営業利益 増減内訳

2. 2019年度上期予想

P14	2019年度上期業績予想
P15	セグメント別売上高・営業利益 予想

3. 参考資料

P17～18	事業別売上高・営業利益 増減内訳
P19～20	事業別売上高・営業利益予想
P21～22	セグメント別四半期 売上高・営業利益推移
P23～30	セグメント別概況
P31	事業別海外売上高
P32	特別損益
P33	開示区分の変更について

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

第1四半期決算発表のポイント

- 2019年度第1四半期は、「住宅」「ヘルスケア」は対前年同期で増益（2セグメント合計で営業利益13%増）となったが、「マテリアル」は、ナフサクラッカーの臨時修繕及び誘導品の定期修理の影響に加え、製品市況悪化や、中国経済の減速、スマートフォン関連市場の鈍化の影響があったこと等から減益（同26%減）となった。
グループ全体として減益（同14%減）となったが、過去最高の前年同期に次ぐ2位の営業利益を記録した。
- 第1四半期から第2四半期にかけては、「住宅」「ヘルスケア」は引き続き順調に推移。「マテリアル」については、臨時修繕等の影響がなくなることに加え、スペシャルティソリューション事業を中心に販売数量の増加を計画している。
- 上期営業利益予想は当初予想（5月）から3%減の945億円に修正するが、上期として過去最高の前年同期に次ぐ2位を目指す。

第1四半期実績の概要

<営業利益 対前年同期比較>

- ▶ 「住宅」「ヘルスケア」は順調に推移したが、「マテリアル」はナフサクラッカーの臨時修繕及び誘導品の定期修理の影響に加え、製品市況悪化や、米中貿易摩擦を背景とした中国経済の減速、スマートフォン関連市場の鈍化等の影響を受けた。
- 「マテリアル」
 - 基盤マテリアル事業： ナフサクラッカーの臨時修繕及び誘導品の定期修理の影響があったことや、MMA、ポリエチレン、ポリスチレン等で交易条件が悪化したこと等により、減益となった。
 - パフォーマンスプロダクツ事業： Sage連結による利益貢献があったが、中国の景況悪化の影響を不織布等の繊維製品で受け、減益となった。
 - スペシャルティソリューション事業： リチウムイオン電池(LIB)用セパレータのESS向け需要減や、電子部品を中心にスマートフォン市場減速の影響を受けたこと、イオン交換膜の中国での販売数量減少等により、減益となった。
- 「住宅」
 - 引渡棟数が増加し、物件の大型化等による単価上昇もあったことから、建築請負部門を中心に増益となった。住宅事業は、売上高・営業利益ともに第1四半期として過去最高を更新。
- 「ヘルスケア」
 - 医療機関向け除細動器の販売数量が増加したこと等から増益となった。

第2四半期予想の概要

<営業利益 第1四半期⇒第2四半期推移>

- 「住宅」、「ヘルスケア」は、引き続き順調に推移。「マテリアル」はナフサクラッカーの臨時修繕等の影響がなくなり、イオン交換膜、LIB用セパレータ、電子部品等で販売数量の増加を計画すること等から、営業利益の改善を予想。
- 「マテリアル」
 - 基盤マテリアル事業： ナフサクラッカーの臨時修繕等の影響がなくなること等により、増益を計画。
 - パフォーマンスプロダクツ事業： 合成ゴムで第1四半期の定期修理の影響がなくなることや、「サランラップ」で販売数量増を計画すること等により、増益を計画。
 - スペシャルティソリューション事業： イオン交換膜で第2四半期に出荷の集中を予想することや、LIB用セパレータでESS向け需要の回復に加え民生・車載向けともに販売数量増を計画すること、電子部品でスマートフォン関連製品の需要回復を織り込むこと等により、増益を計画。
- 「住宅」「ヘルスケア」
 - 順調な進捗を予想。

上期予想の概要

＜営業利益 対当初予想(5月)比較＞

- 「マテリアル」
中国経済の減速、自動車関連市場・スマートフォン関連市場の鈍化等の影響を受け、当初予想を修正。
- 「住宅」
各事業で当初予想通りの推移を見込み、住宅事業は上期として過去最高の売上高・営業利益を計画。
- 「ヘルスケア」
各事業で順調な推移を見込み、当初予想を上回る着地を計画。



1. 2019年度第1四半期実績

主要決算数値

(億円)

	18年度1Q	19年度1Q	増減額	増減率
売上高	4,898	5,021	123	2.5%
営業利益	479	413	-65	-13.7%
経常利益	518	440	-78	-15.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	364	244	-120	-33.0%

<前提>

国産ナフサ価格 (円/kl)	48,700	45,400	-3,300
相場平均為替レート (円/USドル)	109	110	1
(円/ユーロ)	130	123	-7

連結損益計算書

(億円)

	18年度1Q		19年度1Q	
		売上高比率		売上高比率
売上高	4,898	100.0%	5,021	100.0%
売上原価	3,284	67.1%	3,394	67.6%
売上総利益	1,614	32.9%	1,627	32.4%
販管費	1,135	23.2%	1,214	24.2%
営業利益	479	9.8%	413	8.2%
営業外損益	39		26	
(内、金融収支)	(20)		(17)	
(内、持分法投資損益)	(25)		(22)	
(内、為替差損益)	(-5)		(-9)	
経常利益	518	10.6%	440	8.8%
特別損益	60		-2	
税前利益	577	11.8%	438	8.7%
法人税等	-208		-188	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	-6		-5	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	364	7.4%	244	4.9%

増減額	増減率
123	2.5%
110	3.3%
14	0.8%
79	7.0%
-65	-13.7%
-13	
(-3)	
(-4)	
(-4)	
-78	-15.1%
-62	
-140	-24.2%
19	
0	
-120	-33.0%

連結貸借対照表

(億円)

	19/3月末	19/6月末	増減		19/3月末	19/6月末	増減
流動資産	10,514	10,144	-370	負債	11,725	11,571	-154
現金及び預金	1,939	1,717	-222	流動負債	6,819	6,720	-98
受取手形及び売掛金	3,507	3,280	-227	固定負債	4,906	4,851	-55
棚卸資産	4,273	4,408	134	純資産	14,027	13,664	-363
その他	794	739	-55	株主資本	12,567	12,481	-86
固定資産	15,238	15,092	-146	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	6,214	6,340	127	資本剰余金	797	797	-0
無形固定資産	5,300	5,163	-137	利益剰余金	10,776	10,790	14
投資その他の資産	3,725	3,588	-136	自己株式	-39	-139	-100
				その他の包括利益累計額	1,247	975	-272
				非支配株主持分	212	208	-4
資産合計	25,752	25,235	-517	負債純資産合計	25,752	25,235	-517

のれん残高	3,199	3,119	-80
有利子負債	4,249	4,556	307
D/Eレシオ	0.31	0.34	0.03

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	18年度1Q	19年度1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー①	353	159
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-113	-164
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	240	-5
財務活動によるキャッシュ・フロー④	112	-53
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	10	-43
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	362	-101

現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,486	1,805
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	10	1
現金及び現金同等物の四半期末残高(⑥+⑦+⑧)	1,858	1,705

セグメント別売上高・営業利益増減内訳

(億円)

		18年度1Q	19年度1Q	増減	増減率	内訳				
						数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
マテリアル*1	売上高	2,802	2,714	-88	-3.2%	-184	-35	-3	131	-
	営業利益	349	259	-91	-25.9%	-66				
住宅*2	売上高	1,287	1,446	159	12.3%	138	18	-	3	-
	営業利益	78	99	22	27.8%	19				
ヘルスケア	売上高	763	827	64	8.4%	63	1	-2	-1	-
	営業利益	123	126	4	3.2%	28				
その他	売上高	46	35	-11	-24.3%	-11	-	-	-	-
	営業利益	6	3	-3	-47.2%	0				
消去又は全社	営業損失	-76	-74	2	-	-	-	-	-	2
合計	売上高	4,898	5,021	123	2.5%	6	-16	-4	133	-
	営業利益	479	413	-65	-13.7%	-19				

*1 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「マテリアル」セグメントに含めて開示している。

*2 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」セグメントに含めて開示している。



2. 2019年度上期予想

2019年度上期業績予想

(億円)

	18年度			19年度			増減額	増減率	19年度 上期 当初予想*1	増減
	1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q 予想	上期 予想 b				
売上高	4,898	5,517	10,415	5,021	5,689	10,710	295	2.8%	10,880	-170
営業利益	479	564	1,043	413	532	945	-98	-9.4%	975	-30
経常利益	518	585	1,103	440	540	980	-123	-11.1%	1,020	-40
親会社株主に帰属する 四半期純利益	364	425	789	244	456	700	-89	-11.3%	670	30

<前提>

国産ナフサ価格 (円/kl)	51,100	45,400	41,000	43,200	-7,900	47,000	-3,800
相場平均為替レート (円/USドル)	110	110	110	110	-0	110	-0
(円/ユーロ)	130	123	120	122	-8	125	-3
1株当たり配当金	17円	18円 (予想)					

*1 2019年5月時点の予想

セグメント別売上高・営業利益予想

<売上高>

(億円)

	18年度			19年度			増減額	増減率	19年度 上期 当初予想*1	増減
	1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q 予想	上期 予想 b				
マテリアル*2	2,802	2,979	5,781	2,714	2,966	5,680	-101	-1.7%	5,880	-200
住宅*3	1,287	1,700	2,987	1,446	1,854	3,300	313	10.5%	3,300	—
ヘルスケア	763	782	1,545	827	823	1,650	105	6.8%	1,620	30
その他	46	56	102	35	45	80	-22	-21.6%	80	—
合計	4,898	5,517	10,415	5,021	5,689	10,710	295	2.8%	10,880	-170

<営業利益>

(億円)

	18年度			19年度			増減額	増減率	19年度 上期 当初予想*1	増減
	1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q 予想	上期 予想 b				
マテリアル*2	349	372	721	259	306	565	-156	-21.7%	610	-45
住宅*3	78	183	260	99	196	295	35	13.3%	295	—
ヘルスケア	123	97	220	126	109	235	15	6.8%	220	15
その他	6	6	12	3	7	10	-2	-17.8%	10	—
消去又は全社	-76	-95	-171	-74	-86	-160	11	—	-160	—
合計	479	564	1,043	413	532	945	-98	-9.4%	975	-30

*1 2019年5月時点の予想

*2 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「マテリアル」セグメントに含めて開示している。

*3 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」セグメントに含めて開示している。



3. 参考資料

事業別売上高・営業利益*1増減内訳(1)

(億円)

		18年度1Q	19年度1Q	増減	増減率	内訳				
						数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
基盤マテリアル	売上高	977	843	-134	-13.7%	-65	-49	2	-20	-
	営業利益	146	88	-59	-40.2%	-15				
パフォーマンス プロダクツ*2	売上高	1,043	1,123	79	7.6%	-63	9	-3	134	-
	営業利益	120	104	-16	-13.2%	-18				
スペシャルティ ソリューション	売上高	767	722	-45	-5.9%	-57	5	-2	6	-
	営業利益	92	54	-38	-41.1%	-33				
マテリアル共通	売上高	15	26	11	75.2%	-	-	-	11	-
	営業利益	-9	13	22	-	-				
住宅*3	売上高	1,157	1,306	148	12.8%	128	17	-	3	-
	営業利益	71	88	17	24.1%	14				
建材	売上高	130	140	11	8.1%	10	1	-	-	-
	営業利益	8	13	5	56.7%	5				

*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P33の「開示区分の変更について」を参照。尚、セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

*2 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

*3 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

事業別売上高・営業利益*1増減内訳(2)

(億円)

		18年度1Q	19年度1Q	増減	増減率	内訳				
						数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
医薬・医療	売上高	347	343	-4	-1.0%	3	-3	0	-4	-
	営業利益	72	68	-4	-5.4%	-3				
クリティカルケア	売上高	417	484	67	16.2%	60	4	-2	3	-
	営業利益	51	59	8	15.3%	31				
その他	売上高	46	35	-11	-24.3%	-11	-	-	-	-
	営業利益	6	3	-3	-47.2%	0				
消去又は消去	営業損失	-78	-75	2	-	-	-	-	-	2
合計	売上高	4,898	5,021	123	2.5%	6	-16	-4	133	-
	営業利益	479	413	-65	-13.7%	-19				

*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

事業別売上高*1予想

(億円)

	18年度			19年度			増減額	増減率	19年度 上期 当初予想*2	増減
	1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q 予想	上期 予想 b				
基盤マテリアル	977	1,078	2,055	843	867	1,710	-345	-16.8%	1,730	-20
パフォーマンスプロダクツ*3	1,043	1,099	2,142	1,123	1,207	2,330	188	8.8%	2,450	-120
スペシャルティソリューション	767	815	1,582	722	908	1,630	48	3.0%	1,690	-60
マテリアル共通	15	-13	2	26	-16	10	8	—	10	—
住宅*4	1,157	1,561	2,718	1,306	1,714	3,020	302	11.1%	3,020	—
建材	130	139	269	140	140	280	11	4.2%	280	—
医薬・医療	347	338	684	343	357	700	16	2.3%	700	—
クリティカルケア	417	444	860	484	466	950	90	10.4%	920	30
その他	46	56	102	35	45	80	-22	-21.6%	80	—
合計	4,898	5,517	10,415	5,021	5,689	10,710	295	2.8%	10,880	-170

*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P33の「開示区分の変更について」を参照。

*2 2019年5月時点の予想

*3 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

*4 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

事業別営業利益*1予想

(億円)

	18年度			19年度			増減額	増減率	19年度 上期 当初予想*2 c	増減 b-c
	1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q 予想	上期 予想 b				
基盤マテリアル	146	181	328	88	102	190	-138	-42.0%	200	-10
パフォーマンスプロダクツ*3	120	107	227	104	116	220	-7	-3.2%	240	-20
スペシャルティソリューション	92	97	189	54	91	145	-44	-23.3%	165	-20
マテリアル共通	-9	-13	-23	13	-3	10	33	—	5	5
住宅*4	71	172	243	88	187	275	32	13.2%	275	—
建材	8	11	19	13	7	20	1	7.8%	20	—
医薬・医療	72	35	106	68	47	115	9	8.0%	105	10
クリティカルケア	51	63	114	59	61	120	6	5.6%	115	5
その他	6	6	12	3	7	10	-2	-17.8%	10	—
消去又は全社	-78	-94	-172	-75	-85	-160	12	—	-160	—
合計	479	564	1,043	413	532	945	-98	-9.4%	975	-30

*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P33の「開示区分の変更について」を参照。尚、セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

*2 2019年5月時点の予想

*3 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

*4 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

セグメント別四半期売上高*1推移

	18年度				19年度	(億円)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	19年度 2Q 予想
マテリアルセグメント	2,802	2,979	3,113	2,869	2,714	2,966
基盤マテリアル	977	1,078	1,010	932	843	867
パフォーマンスプロダクツ*2	1,043	1,099	1,230	1,199	1,123	1,207
スペシャルティソリューション	767	815	863	763	722	908
マテリアル共通	15	-13	9	-26	26	-16
住宅セグメント	1,287	1,700	1,481	2,129	1,446	1,854
住宅*3	1,157	1,561	1,328	2,001	1,306	1,714
建材	130	139	154	128	140	140
ヘルスケアセグメント	763	782	815	802	827	823
医薬・医療	347	338	356	315	343	357
クリティカルケア	417	444	459	487	484	466
その他	46	56	44	37	35	45
合 計	4,898	5,517	5,453	5,837	5,021	5,689

*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P33の「開示区分の変更について」を参照。

*2 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

*3 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

セグメント別四半期営業利益*1推移

	18年度				19年度	(億円)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	19年度 2Q 予想
マテリアルセグメント	349	372	343	232	259	306
基盤マテリアル	146	181	125	79	88	102
パフォーマンスプロダクツ*2	120	107	130	116	104	116
スペシャルティソリューション	92	97	102	38	54	91
マテリアル共通	-9	-13	-15	-1	13	-3
住宅セグメント	78	183	127	294	99	196
住宅*3	71	172	111	281	88	187
建材	8	11	19	9	13	7
ヘルスケアセグメント	123	97	121	77	126	109
医薬・医療	72	35	65	12	68	47
クリティカルケア	51	63	56	65	59	61
その他	6	6	4	8	3	7
消去又は全社	-76	-95	-70	-82	-74	-86
合 計	479	564	524	529	413	532

*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P33の「開示区分の変更について」を参照。尚、セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

*2 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

*3 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

マテリアルセグメント(1)

(億円)

	売上高*1			
	18年度1Q	19年度1Q	増減額	増減率
マテリアルセグメント	2,802	2,714	-88	-3.2%
基盤マテリアル	977	843	-134	-13.7%
パフォーマンスプロダクツ*2	1,043	1,123	79	7.6%
スペシャルティソリューション	767	722	-45	-5.9%
マテリアル共通	15	26	11	75.2%

	営業利益*1			
	18年度1Q	19年度1Q	増減額	増減率
マテリアルセグメント	349	259	-91	-25.9%
基盤マテリアル	146	88	-59	-40.2%
パフォーマンスプロダクツ*2	120	104	-16	-13.2%
スペシャルティソリューション	92	54	-38	-41.1%
マテリアル共通	-9	13	22	—

<基盤マテリアル事業>

営業利益:減益

- (+)アクリロニトリルの取引条件改善
- (-)ナフサクラッカーの臨時修繕および誘導品の定期修理による販売数量減少、固定費増加
- (-)各製品の市況下落による取引条件悪化

*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P33の「開示区分の変更について」を参照。尚、セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

*2 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

マテリアルセグメント(2)

<パフォーマンスプロダクツ事業>

営業利益:減益

- (+) Sage連結
- (+) ナイロン66樹脂「レオナ」の交易条件改善
- (-) 不織布を始めとした各繊維製品の販売数量減少
- (-) 合成ゴムの操業度差
- (-) エンジニアリング樹脂の自動車・家電用途等の販売数量減少

トピックス

- ・ポリアセタール樹脂「テナック-C Z4520」の中国におけるグリーン材料認定取得を発表。(5月)
- ・人工皮革「ラムース」の生産能力増強決定を発表。(7月)

<スペシャルティソリューション事業>

営業利益:減益

- (-) ESS火災の影響によるLIB用セパレータ「セルガード」の販売数量減少
- (-) イオン交換膜の中国向け販売数量減少
- (-) 電子部品のスマートフォン関連および中国市場の減速による販売数量減少

住宅セグメント(1)

(億円)

	売上高			
	18年度1Q	19年度1Q	増減額	増減率
住宅セグメント	1,287	1,446	159	12.3%
住宅事業	1,157	1,306	148	12.8%
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	689	795	106	15.4%
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	341	317	-23	-6.8%
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	123	137	14	11.3%
その他住宅 周辺事業等*1	5	56	51	—
建材事業	130	140	11	8.1%

	営業利益*2			
	18年度1Q	19年度1Q	増減額	増減率
住宅セグメント	78	99	22	27.8%
住宅事業	71	88	17	24.1%
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	16	37	21	126.5%
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	42	36	-5	-13.0%
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	9	13	3	32.5%
その他住宅 周辺事業等*1	3	2	-1	-38.7%
建材事業	8	13	5	56.7%

営業利益:増益

- (+) 建築請負部門における引渡棟数増加
- (-) 住宅事業における業務委託費等の固定費増加

建築請負部門の受注状況

- ・集合住宅の受注が堅調に推移したが、戸建住宅の受注が減少し、前年比7.0%の減少となった。

トピックス

- ・要介護期向けサービス付き高齢者向け住宅「Village(ヴィラージュ)リーシュ」シリーズの立ち上げを発表。(4月)
- ・建築請負事業の戸建住宅において、多様化するお客様ニーズと価値観への対応を狙い、セレクトパッケージ「my DESSIN」の本格展開を開始。(4月)
- ・フェノールフォーム断熱材「ネオマフォーム」などの断熱材製品が、環境負荷低減への貢献を評価され「第18回GSC賞 環境大臣賞」を受賞。(6月)

*1 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を連結している。

*2 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

住宅セグメント(2) 売上高、受注高の状況

(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	建築請負 部門売上高*1	不動産部門売上高*1				リフォーム 部門売上高	他*2	連結計		受注残
				分譲	賃貸	他	合計					
15	上期	2,173 (-0.2%)	1,838 (-2.2%)	104	335	17	456	278	9	2,580 (0.8%)	5,546	
	下期	1,831 (-12.0%)	2,277 (5.3%)	277	390	18	684	281	7	3,250 (9.9%)	5,131	
	通期	4,004 (-5.9%)	4,115 (1.8%)	381	725	35	1,141	559	16	5,830 (5.7%)		
16	上期	2,066 (-4.9%)	1,835 (-0.1%)	118	412	18	548	270	-5	2,648 (2.6%)	5,388	
	下期	1,943 (6.1%)	2,208 (-3.1%)	95	435	16	546	291	8	3,053 (-6.1%)	5,158	
	通期	4,009 (0.1%)	4,043 (-1.8%)	213	847	34	1,094	561	4	5,702 (-2.2%)		
17	上期	1,931 (-6.5%)	1,827 (-0.4%)	120	453	16	590	268	11	2,696 (1.8%)	5,289	
	下期	2,125 (9.4%)	2,241 (1.5%)	147	478	25	651	284	11	3,187 (4.4%)	5,209	
	通期	4,056 (1.2%)	4,068 (0.6%)	268	932	42	1,241	552	22	5,883 (3.2%)		
18	1Q	981 (7.0%)	689 (-4.7%)	87	246	8	341	123	5	1,157 (0.1%)	5,511	
	2Q	1,120 (10.5%)	1,066 (-3.5%)	81	251	9	340	149	6	1,561 (1.4%)	5,578	
	上期	2,101 (8.8%)	1,755 (-4.0%)	168	497	16	681	272	10	2,718 (0.8%)		
	下期	2,415 (13.6%)	2,282 (1.8%)	132	521	21	674	312	61	3,329 (4.5%)	5,750	
	通期	4,516 (11.3%)	4,037 (-0.8%)	299	1,018	37	1,354	584	71	6,047 (2.8%)		
19	1Q	912 (-7.0%)	795 (15.4%)	35	269	13	317	137	56	1,306 (12.8%)	5,908	
	2Q予	1,120 (-)	1,161 (9.0%)	40	272	16	329	173	51	1,714 (9.8%)	5,905	
	上期予	2,032 (-3.3%)	1,957 (11.5%)	76	541	29	646	310	107	3,020 (11.1%)		

*1 2015年度下期より「建築請負部門」に算入されていた旭化成ホームズの賃貸管理事業を「不動産部門」に移管し、移管後の数値で記載している。

*2 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を連結している。

ヘルスケアセグメント(1)

(億円)

	売上高			
	18年度1Q	19年度1Q	増減額	増減率
ヘルスケアセグメント	763	827	64	8.4%
医薬・医療事業	347	343	-4	-1.0%
クリティカルケア事業	417	484	67	16.2%

営業利益:増益

- (+) 医療機関向け除細動器の販売数量増加
- (-) ウイルス除去フィルター「プラノバ」の販売数量減少

	営業利益*1			
	18年度1Q	19年度1Q	増減額	増減率
ヘルスケアセグメント	123	126	4	3.2%
医薬・医療事業	72	68	-4	-5.4%
クリティカルケア事業	51	59	8	15.3%

トピックス

- ・ZOLLによる米国医療機器メーカーCardiac Science Corporationの買収を発表。(6月)

*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

ヘルスケアセグメント(2)

< 医薬・医療事業 売上高内訳 >

(億円)

		18年度		19年度
		1Q	上期	1Q
医薬事業	国内医薬	147	294	144
	その他	15	28	14
	計	162	322	158
医療事業		185	363	185
医薬・医療 計		347	684	343

< 主要医薬品の国内売上高 >

(億円)

	18年度		19年度
	1Q	上期	1Q
テリボン	72	144	64
リコモジュリン	29	60	29
ケブザラ	1	3	8
フリバス	9	18	7
ブレディニン	8	16	7
エルシトニン	7	12	5
リクラスト	4	7	4

ヘルスケアセグメント(3)

＜クリティカルケア事業 業績推移(USDルベース)＞

(百万USDル)

	18年度				19年度		1Q 実績 比較	増減率
	1Q	上期	下期	年間	1Q	上期 予想		
売上高(連結)	382	780	848	1,629	440	865	58	15.3%
事業利益	77	163	170	333	84	174	8	10.0%
のれん償却額	-19	-37	-38	-75	-20	-41	-1	
無形固定資産償却額等	-11	-23	-24	-47	-11	-22	0	
償却額合計	-30	-60	-62	-122	-31	-63	-1	
営業利益(連結)	47	103	108	211	53	110	7	14.4%

ヘルスケアセグメント(4)

＜医薬事業の研究開発の状況＞

		開発コード・剤型 (一般名)	薬効・分類	適応症	地域	自社/導入	備考
国内	申請中	MN-10-T AI・注 (テリパラチド酢酸塩)	骨粗鬆症治療剤	骨折の危険性の高い 骨粗鬆症	日本	自社	剤型追加 用量追加
	フェーズⅢ	AK1820・注、カプセル (イサブコナゾニウム硫酸塩)	深在性真菌症 治療剤	深在性真菌症	日本	導入	
	フェーズⅡ	ART-123・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	化学療法誘発性 末梢神経障害	日本	自社	効能追加
海外	申請中	フリバス・錠 (ナフトピジル)	排尿障害改善剤	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	中国	自社	
	フェーズⅢ	ART-123・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	米国・欧州 他	自社	
		HE-69・錠 (ミゾリビン)	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	中国	自社	効能追加

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科や救急・集中治療などの領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

事業別海外売上高*1

(億円)

	18年度1Q			19年度1Q			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
基盤マテリアル	977	420	43.0%	843	408	48.4%	-12	-2.8%
パフォーマンスプロダクツ*2	1,043	557	53.4%	1,123	651	58.0%	95	17.1%
スペシャルティソリューション	767	512	66.7%	722	473	65.5%	-39	-7.6%
マテリアル共通	15	3	23.1%	26	2	5.8%	-2	-55.9%
住宅*3	1,157	—	—	1,306	51	3.9%	51	—
建材	130	0	0.1%	140	—	—	-0	-100.0%
医薬・医療	347	116	33.5%	343	118	34.3%	2	1.3%
クリティカルケア	417	412	99.0%	484	479	99.0%	67	16.2%
その他	46	6	12.5%	35	4	10.8%	-2	-34.5%
合計	4,898	2,027	41.4%	5,021	2,186	43.5%	159	7.8%
アジア (うち、中国)		1,193	24.4%		1,117	22.2%	-77	-6.4%
		525	10.7%		481	9.6%	-44	-8.4%
米州		550	11.2%		735	14.6%	185	33.6%
欧州		235	4.8%		280	5.6%	45	19.2%
その他海外		48	1.0%		54	1.1%	6	12.3%

<参考>

住宅・建材を除いた売上高 3,611 2,026 56.1% 3,575 2,135 59.7%

*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P33の「開示区分の変更について」を参照。

*2 2018年度第4四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

*3 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

特別損益

(億円)

	18年度1Q	19年度1Q	増減
投資有価証券売却益	68	5	-63
固定資産売却益	1	4	3
特別利益	69	9	-60
固定資産処分損	5	10	5
減損損失	2	0	-2
事業構造改善費用	3	1	-2
特別損失	9	11	2
特別損益	60	-2	-62

開示区分の変更について

2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を、従来の「繊維」「ケミカル」「エレクトロニクス」から、「基盤マテリアル」「パフォーマンスプロダクツ」「スペシャルティソリューション」「マテリアル共通」に変更する。

報告セグメント	事業別開示区分		
	(旧)		(新)
マテリアル	繊維	→	基盤マテリアル (旧「石油化学事業」)
	ケミカル (石油化学事業、 高機能ポリマー事業、 高機能マテリアルズ事業・消費財事業)		パフォーマンスプロダクツ (旧「繊維事業」、 旧「高機能ポリマー事業」、 旧「消費財事業」)
	エレクトロニクス (セパレータ事業、電子部品事業)		スペシャルティソリューション (旧「高機能マテリアルズ事業」、 旧「セパレータ事業」、 旧「電子部品事業」)
			マテリアル共通
住宅	変更なし		
ヘルスケア			
その他			
消去又は全社			

尚、当資料では、2018年度の実績について、上記変更を反映した数値を記載している。

Creating for Tomorrow

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。
それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、
より豊かな“暮らし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。
創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、
次の時代へ大胆に伝えていくために一。
私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

AsahiKASEI